

## **R6 年度男女共同参画に関する市民・事業所アンケート結果検証 ～ アンケートから見た課題 ～**

### **<市民アンケートから見た課題>**

#### **1. 男女の役割意識と就業支援** （「夫は仕事、妻は家庭」に反対派の人 R1 : 51.9% R6 : 59.9%）

「夫は仕事、妻は家庭」という考え方には約 6 割が反対だが、性別による役割分担は依然存在している。特に男性は経済的な役割、女性は家事や育児を担っている。

女性が職業を持つことについては、大多数が「家事・育児に影響しない程度」または「結婚・出産にかかわらずずっと職業を持つ」ことに賛成している。これを支えるための就業支援や環境整備が必要。

#### **2. ワーク・ライフ・バランスの不均衡** （WLB 実現できている派の人 R1 : 51.9% R6 : 60.4%）

家事や育児の負担が女性に大きく偏っており、男性の参加が少ない。この状況を改善するため、男性の家事・育児参加を促進する取り組みが求められる。

ワーク・ライフ・バランスについては「実現できている」「ある程度実現できている」と感じる人が 6 割超いるが、実際の均衡は取れておらず、仕事と家庭の両立支援が必要。

#### **3. 男女共同参画の認知不足** （男女共同参画都市宣言認知率 R1 : 42.8% R6 : 39.2%）

栗東市の男女共同参画に関する取り組みの認知度が低く、5 年前よりも「聞いたことがない」「内容を知らない」人の割合が増加。情報発信や学習機会の提供が求められている。

#### **4. 女性の社会進出と管理職登用の必要性** （女性管理職の割合 R1 : 12.0% R6 : 9.7%）△2.3%

女性が議員、公務員、企業の管理職として進むべきと考える人が多い。女性管理職の登用促進を推進することが重要。\* 数値は事業所アンケートより

#### **5. 働きやすい環境の整備** （働きやすい労働環境を求める割合 R1 : 55.8% R6 : 23.3%）

男女ともに働きやすい労働環境、仕事と家庭の両立ができる環境、保育・介護施設の充実を望む声が多く、これらの環境整備が必要である。

#### **6. 男性の家事・育児参画推進** （男性が家事にかかる時間\_1 時間未満 R1 : 52.8% R6 : 51.8%）

男性は家事・育児時間が女性に比べて圧倒的に少ない傾向がある。女性が家事にかかる時間が 2～4 時間の人は約 50%になる。男性の家事・育児参加に対する意識醸成に向けて、家庭だけでなく職場環境においても意識啓発が求められている。

#### **7. 地域活動や政策決定への女性参加**

性別は関係ないと思う人が多数だが、実際には男性優位の組織運営や性別役割分担意識が依然根強い。女性の積極的な参画を支援する取り組みが必要である。

## <事業所アンケートから見た課題>

### 1. 正規従業員の男女格差

(男性 R1:68.6% R6:75.6%) (女性 R1:39.3% R6:38.9%)  $\Delta 0.4\%$

- ・男性正規従業員の割合が高い
- ・男女格差の拡大

女性の正規従業員割合は5年前の39.3%から下がり、一方で男性の割合は68.6%から上昇しており、男女格差が拡大。

### 2. 女性管理職の低割合 (女性管理職の割合 R1:12.0% R6:9.7%) $\Delta 2.3\%$

- ・女性管理職の減少
- ・女性候補者不足

女性管理職の登用が進まない理由として、管理職ポジションへの女性候補者が少ないことが大きい。

### 3. 制度的な障壁

- ・フレックスタイムやリモートワークの導入不足

女性管理職の増加を阻む制度として、多くの事業所がフレックスタイムやリモートワークの導入が進んでいないと回答。

- ・研修や教育機会の不足

キャリアアップのための研修や教育の機会が不足していることも障壁として挙げられている。

### 4. 女性管理職の増加に向けた施策

- ・リーダーシップ研修の必要性

女性管理職を増やすための施策として、女性向けのリーダーシップ研修の実施が最も多く望まれている。

- ・育児・介護支援の充実

託児所の設置や育児休暇の拡充など、育児・介護支援の拡充も重要な施策。

### 5. ポジティブ・アクションに関する課題

- ・基本方針未設定

ポジティブ・アクションの基本方針を定めていない事業所が78.41%と多い。

- ・効果的な施策の不明確さ

ポジティブ・アクションを推進する上での最大の課題として、効果的な施策が不明確であることが挙げられる。

### 6. 育児・介護休業の取得状況 (男性育休取得率 R1:3.8% R6:47.8%) $+44\%$

- ・育児休業の男女格差

育児休業取得率は女性が100%であるのに対し、男性は47.8%と大きな差がある。

- ・介護休業の取得状況

介護休業は男性よりも女性が取得する割合が高いが、5年前と比較して大きな変化は見られない。